

2021年度 秋季中部学生ヨット選手権大会
新型コロナウイルス感染拡大防止について

はじめに

選手・支援者の皆様へ

2020年世界を襲った新型コロナウイルスは、未だ影響が衰えず、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が一部地域で適用されたりと全国的にも感染者が増加傾向にあり、一部大学では、出場辞退が危惧されることも予想されています。

このような状況下にあっても私たちは、セーリング競技を通じ、自分たちはもとより社会に対し明るい情報を提供していくことが求められています。大学生の皆様が、一生懸命取り組む姿は、社会に取って大きな勇気と希望を与えると確信しています。

これらに答えるため、また自分達がセーリング競技を楽しむためにも、私たちはしっかりコロナウイルス対策を行い、大会に臨む必要があります。

コロナウイルスに感染しないようにするためには、**マスクの着用**をする、**消毒・石鹸を使った手洗い**をこまめにする、**三密を回避**することに加え**ワクチン接種**を行うことが大切です。これは、大会前後の日常生活や大会期間中のレース終了後の時間帯においても重要なことです。

大会ではこれら対策を推奨し安全・安心な大会を実施しますのでご協力をお願いします。

コロナウイルス感染予防対策について 1

選手・登録された支援者の皆様は、以下の事項を守るようにお願いします。

- レース公示、帆走指示書をよく確認し対策通りの実施をお願いします。
- 大会関係者は、各々の立場において、（公財）日本スポーツ協会が発行する「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（公財）日本セーリング連盟が発行する「セーリング競技に関わる大会等再開時のガイドライン」の記載事項を遵守する。
- 大会期間に効果を発揮できる期日までに、新型コロナウイルスワクチンの接種を行うことを推奨する。接種は、個人の判断での実施をお願いします。
- 大会前後2週間の行動記録と体調管理を行う。（レース公示指示事項、ペナルティーあり）
- 会場に入る場合は、体温計測を受けること。このため、朝のハーバーへの入場場所を1カ所に限定する。
- 大会会場では、マスクの着用を行うこと。支援者は、支援艇に乗船時でもできる限りマスクを着用する。
- 競技者、支援者は、大会までの期間も含め、コロナ対策感染予防対策を徹底する。新型コロナウイルス接触アプリ（COCOA）を活用する。
- 大会会場までの移動はできるだけ分散し、感染予防処置を実施する。車両の中でもマスクの着用と空気換気を徹底する。
- 大会期間中は、会食、懇親会等を行わない。大会登録されていないOB・OGなどの支援者との接触は、できる限り避ける。

コロナウイルス感染予防対策について 2

選手・登録された支援者の皆様は、以下の事項を守るようにお願いします。

- 大会前 2 週間内で**体調を崩した場合**（発熱など一般的にコロナウイルス感染で指定されている事項）は、**大会に参加しない**。
- 体調を崩した場合は、医師の診断を受けること。コロナウイルス未感染と判断された場合は、参加可能とする。
- 大会 2 週間内で周囲（家族、大学内、バイト先、友人など）で感染者が発生し、**濃厚接触者と判断された場合は、大会に参加しない**。
- 宿泊は、できる限りシングルルームとし、準備できない場合、部屋ではマスクを着用する。就寝時は、できるだけ間隔を取り就寝する。
- 集まったの**ミーティング等は、三密となる可能性が高い**ため換気、ソーシャルディスタンスを十分確保し行う。
- 支援者はできる限り、ハーバーへの来場は避ける。海上で応援する際は、ソーシャルディスタンスの確保、マスク等の着用を行い十分な感染対策を実施する。

コロナウイルス感染予防対策について 3

選手・登録された支援者の皆様は、以下の事項を守るようにお願いします。

- 来場する支援者は最小限とし、バースエリアでの三密状態を避けるため、大会登録者のみバースエリアへの入場を必要最小人数と時間にしぼり許可する。
- 大声を出しての体操や応援は行わない。
- 消毒を各所に置いておくため常に使用すること。
- ハーバーのロッカールーム、シャワールームは、密になるため、出来る限り使用せず宿舎のものを使用する。
- シャワールームは、入り口に籠を置いておくので、籠を持って入場し利用する。籠が無い場合は、満員のため入場はしない。使用後は、籠を入り口の指定場所に返却のこと。
- 審問を待つときは、出席者のみとする。対象者以外は、西棟付近での待機は禁止する。